

# 平成30年度 事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## 1. 住民参加による地域福祉の推進

### (1) 小地域福祉活動

#### 1 拠り所づくりの支援

住民が集える「場」づくりについて、既存の活動については定期的または必要に応じて支援を行った。また、新たな「場」の開発に向けては、昨年度本会主催で実施した地域福祉サポーター養成講座、村緑ことぶき連合会主管で実施した地域支援事業担い手養成研修受講者の有志と協議を重ね、当該有志を担い手として新たな「場」を開拓した。

#### ☆既存活動

柿坂サロン、舟沢サロンの支援

【柿坂サロン】 年間7回（毎月第1水曜日にお茶のみ会を実施）

【参加者数】 実11人 延べ67人

【舟沢サロン】 年間2回（原則として毎月第2日曜日に実施）

【参加者数】 実29人 延べ187人

#### ◆新規活動

曲師宿・古在家サロン、宮ヶ瀬サロンの支援

【曲師宿・古在家サロン】

立ち上げに向けての話し合い 年間4回（5、6、7月）

年間13回（毎月第2、第4水曜日に実施） ※8月から実施

【参加者数】 実10人 延べ100人

### 【宮ヶ瀬サロン】

立ち上げに向けての話し合い 年間3回（6、7、9月）

年間4回（毎月第2土曜日にお茶のみ会を実施） ※10月から実施

【参加者数】 実18人 延べ32人

## 2 小地域ネットワーク活動の開催

- 清水ヶ丘地区の「見守り支え合いマップ」を活用しての見守り活動

情報の更新（年間6回）

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の方々の情報をメンバー間で共有した。

## 3 ケース支援調整会議等への参加

清川村保健福祉課、神奈川県厚木保健福祉事務所、清川村地域包括支援センター、NPO法人ハートラインあゆみと、低所得者への支援、一人暮らし高齢者等の包括的ケア、障害者の地域生活支援等について毎月協議した。

## （2）ボランティア事業

### 1 ボランティア情報の収集及び提供

（提供）

「社協だより」を活用し、村内の活動を周知した。

- ・4月号 地域サロン活動等

### 2 ボランティア講座の開催

大規模災害発生時に、ボランティアが円滑に活動するための拠点となる「災害ボランティアセンター」の運営を、村保健福祉課、村社協とともに協力してくださるボランティアを養成した。

- 【実施日】 9月8日（1回目） 9月19日（2回目）  
【実施場所】 清川村保健福祉センターやまびこ館  
【内 容】 災害ボランティアセンターの開設と運営についての講義（1回目）  
熊本県西原村災害ボランティアセンターの活動報告（2回目）  
災害ボランティアセンターの模擬体験（2回目）  
【参加者数】 4人  
【講 師】 ぞま災害ボランティアネットワーク（1回目）  
社会福祉法人海老名市社会福祉協議会（2回目）

### 3 ボランティアコーディネート 5件

- 【内 容】 ひまわり館デイサービス等におけるコーディネート 団体4件、  
個人1件  
《福前体操、コーラス、歌、三味線、デイサービス夏まつりの手  
伝い、尺八》

### 4 ボランティアグループ活動援助

前年度の活動実績に伴い助成金額を決定し、1グループ（もみじ会）へ交付した。

### 5 幼稚園、学校、地域を基盤とした福祉教育授業の開催

- ① 清川幼稚園の園児が、緑小学校の総合学習の一環で交流のあるデイサービスの高齢者とふれあう機会を設けた。

- 【実施日】 5月25日、10月15日、11月2日、  
平成31年3月13日  
【実施場所】 清川村保健福祉センターひまわり館（11月、3月は清川幼稚園）  
【内 容】 園児による踊り、歌の披露、手遊びやゲーム等での交流、デイサービス利用者による卒園児へのプレゼントの提供等  
【参加者】 もも組（年少）、ゆり組（年中）、さくら組（年長）

② 村内の小中学校が実施した福祉に係わる体験学習において、プログラムの検討段階から当日の実施まで協力した。

●緑中学校、宮ヶ瀬中学校合同道徳授業

【実施日】 6月15日  
【実施場所】 緑中学校  
【内 容】 手話教室  
【参加者】 両校の1年生～3年生

●宮ヶ瀬中学校G T道徳授業

【実施日】 6月20日  
【実施場所】 宮ヶ瀬中学校  
【内 容】 視覚障害についての疑似体験等  
【参加者】 1年生～3年生

●緑中学校福祉人権体験学習

【実施日】 11月21日  
【実施場所】 緑中学校等  
【内 容】 アイマスク体験（1年生）  
車椅子体験（2年生）  
高齢者疑似体験（3年生）  
【参加者】 1年生～3年生

●緑小学校総合学習

【実施日】 7月12日（1回目）、7月17日（2回目）、  
9月19日（3回目）、10月17日、26日（4回目）  
11月12日、21日（5回目）  
【実施場所】 緑小学校（1～2回目）  
清川村保健福祉センターひまわり館（3～5回目）  
【内 容】 視覚障害についての学習（1回目）  
高齢者についての学習（2回目）  
デイサービス利用者との交流（3～5回目）  
※3回目は5年生が合奏、合唱を披露し、4～5回目は5年生が発案したレクリエーションを実施した。  
【参加者】 5年生

●宮ヶ瀬小学校全校福祉体験授業

- 【実施日】 12月3日
- 【実施場所】 宮ヶ瀬小学校
- 【内 容】 車いすバスケットボールの体験
- 【参加者】 全校児童
- 【講師】 湘南スポーツクラブ

●緑小学校人権体験学習

- 【実施日】 12月3日
- 【実施場所】 緑小学校
- 【内 容】 車いすバスケットボールの体験
- 【参加者】 5～6年生
- 【講師】 湘南スポーツクラブ

- ③ パラスポーツフェスティバルを通じて児童・生徒の福祉意識の醸成が図れるよう、村内の小中学校福祉教育担当教諭等と打ち合わせを行った。

※社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会平成30年度支え合いの地域づくり推進モデル事業により実施

- 【実施回数】 年間7回
- 【実施場所】 村内各小中学校
- 【内 容】 パラスポーツフェスティバルの周知依頼等について  
パラスポーツフェスティバルの結果報告について  
次年度の進め方について
- 【参加者】 村内各小中学校福祉教育担当教諭等

④ 認知症サポーター養成講座

住民等が認知症について正しく理解し、偏見のない地域社会が構築できるよう認知症サポーター養成講座を実施した。

- 【実施日】 5月28日
- 【実施場所】 清川村保健福祉センターやまびこ館
- 【内 容】 認知症についての理解
- 【参加者】 村職員3人
- 【講師】 認知症キャラバンメイト（村社協職員）

## (3) 当事者支援事業

### 1 村緑ことぶき連合会事務局の運営

村緑ことぶき連合会の事務局として、総会を初め、懇談会、スポーツサロン、趣味活動などの活動を支援した。

### 2 障害者福祉活動の推進

#### ① 知的障害者サロン活動

障害者同士の交流機会を確保するとともに、交流を通じて得られたニーズから権利の擁護に努めた。

- 【実施回数】 12回（毎月第3火曜日）
- 【実施場所】 清川村保健福祉センターやまびこ館
- 【内 容】 おしゃべり、ゲーム、外出
- 【参加者数】 実4人 延べ48人

#### ② 障害者カラオケ交流会

身体、知的、精神障害者の交流機会が得られるよう、カラオケを実施した。

- 【実施日】 8月5日
- 【実施場所】 清川村保健福祉センターやまびこ館
- 【参加者数】 10人（身体2人、知的5人、精神2人、付き添い1人）

## (4) 啓発広報事業

### 1 普及啓発セミナー等の開催

#### ○パラスポーツフェスティバルの開催

誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりの実現に向けて、パラスポーツ選手の体験談やビームライフル、ウィルチェアーラグビーの体験を通じ、福祉意識の醸成を図るとともに、パラスポーツの普及啓発を図った。

【実施日】10月13日

【実施場所】清川村保健福祉センターせせらぎ館

【内 容】講演会

テーマ 車いすからパラリンピック、そして2020年へ

講師 田口亜希氏（射撃元パラリンピック代表）

体験会 射撃（ビームライフル）

講師 NPO法人神奈川県ライフル射撃協会

体験会 ウィルチェアラグビー

講師 横濱義塾

【参加者数】60人

#### ○障害者のつどいの開催

障害者週間にあたり、村民が障害者の福祉についての理解と関心を深められるよう努めた。また、現在就労している障害者が参加者等と意見交換することにより、自身の就労に対する意欲を向上させた。

【実施日】11月30日

【実施場所】清川村保健福祉センターやまびこ館

【内 容】基調講演

テーマ 障害者が暮らしやすい社会を推進するために

講師 栗谷弘海氏（NPO法人障害児・者人権ネットワーク理事長）

トークショー

登壇者 天野元明氏（知的障害者）

上野佑介氏（精神障害者）

コーディネーター 栗谷弘海氏

【参加者数】33人

### 3 社協だよりの発行

福祉制度の普及・啓発や福祉情報、社協の事業活動を周知するために、毎月発行した。

### 4 ホームページの更新

最新の福祉情報の提供や社協の事業活動及び組織概要等を周知するために、適宜更新に努めた。

## (5) 交流事業

### 1 ふれあい昼食会の開催

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等の方々が昼食会に参加することにより、外出機会を確保し、閉じこもりを防止するとともに、交流等を通じて把握した生活・健康状況に応じて、各種サービス・活動へ繋げていく等重層的な見守りを展開した。

【実施回数】 12回（原則毎月第1木曜日）

【実施場所】 清川村保健福祉センターやまびこ館

【内 容】 おいしい食事、健康チェック、情報提供、レクリエーション

【参加者数】 実18人 延べ171人

## 2. 地域における福祉サービス事業の総合的展開

### (1) 在宅福祉事業

#### 1 清川村福祉給食サービス事業の実施（村受託事業）

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等の方々にお弁当を宅配することにより、栄養に配慮した食生活を確保するとともに、利用者の生活状況を把握し、安否の確認を行う等重層的な見守りを展開した。

【実施回数】 97回（毎週水曜、金曜日）

【利用者数】 実35人

【延べ配食数】 1904食

【調理員】 清川村食生活改善推進団体もみじ会

【配食員】 配食ボランティア16人

#### 2 移送サービス（福祉有償運送サービス）事業の実施

既存の公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対して、福祉車両による送迎を行うことにより、低額な料金での移動手段を確保し、生活



の質の維持及び転出の防止に努めた。

【利用者数】 実 32 人

【延べ移送回数】 497 回

【移送内容】 病院 375 回 施設 36 回 行政機関 4 回 金融機関 9 回  
買い物 51 回 理美容 2 回 通学 17 回 薬局 1 回  
その他 2 回

### 3 清川村通所型サービス事業（ほのぼのクラブ）の実施（村受託事業）

地域包括支援センターの介護支援専門員が作成した介護予防サービス・支援計画に「通所型サービス（A型）」が位置づけられた総合事業対象者及び要支援高齢者に対して、送迎、機能訓練、食事サービス、レクリエーション、趣味活動を提供することにより、当該事業対象者等の心身機能の維持・向上、認知症の予防に努めた。

【実施日】 月曜日～木曜日

【実施場所】 清川村保健福祉センターやまびこ館

【職員体制】 生活相談員 1 人 補助員 3 人 送迎員 4 人 事務員（村出向） 1 人

【利用者数】 実 30 人

実施回数		184 回
事業対象者別延べ利用者数	総合事業	1,072 人
	要支援 1	83 人
	要支援 2	53 人
延べ利用者数		1,208 人

## （2）介護サービス事業所の運営

### 1 居宅介護支援事業

要介護認定を受けた高齢者に対して、介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、当該高齢者が住み慣れた地域で療養・介護が受けられる環境の確保に努めた。

【職員体制】 介護支援専門員 1 名

【利用者数】 実 40 人

【延べ作成者数】 361 人分

【延べ要介護認定調査数】 5 人分

## 2 通所介護事業

介護支援専門員が作成した介護サービス計画（ケアプラン）に「通所介護」が位置づけられた要介護高齢者に対して、送迎、入浴、機能訓練、食事の提供、趣味活動等を提供することにより、当該要介護高齢者の心身機能の維持・向上、日中生活上の楽しみの増強を図り、独居高齢者の在宅生活の継続、生活の豊かさの向上に努めた。また併せて、当該要介護高齢者のご家族の身体的及び精神的負担の軽減に努めた。

【実施日】 月曜日～金曜日

【実施場所】 清川村保健福祉センターひまわり館

【職員体制】 管理者 1 人 生活相談員 1 人（兼務） 看護師 3 人  
介助員 5 人 調理員 3 人 送迎員 4 人

【利用者数】 実 29 人

実施回数	242 回
介護度別延べ利用者数	要支援 1 0 人
	要支援 2 0 人
	要介護 1 779 人
	要介護 2 812 人
	要介護 3 450 人
	要介護 4 352 人
	要介護 5 0 人
延べ利用者数	2,393 人

### (3) 障害サービス事業所の運営

#### 1 地域生活支援事業

利用なし

## (4) 権利擁護事業

### 1 日常生活自立支援事業の実施（県社協受託事業）

判断能力が不十分な障害者等の福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理を行うことによって、本人の権利が擁護された生活の維持に努めた。

【相談・問い合わせ件数】 4 件

【関係機関等との連絡・調整件数】 6 4 件

【契約件数】 1 件

【終了件数】 1 件

【現在利用者数】 3 人

### 2 成年後見制度の相談窓口

成年後見制度をわかりやすく説明することにより、制度の利用促進に努めた。

【相談件数】 1 件

## (5) 援護事業

### 1 生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託事業）

●相談業務・・・4 件 ●貸付業務・・・0 件

### 2 緊急援護資金貸付事業の実施（自主事業）

●相談業務・・・9 件 ●貸付業務・・・6 件

### 3 年末たすけあい運動寄付金の配分

【一人暮らし高齢者等】 庭木の剪定 1 世帯 おせちの宅配 7 世帯  
食品等の詰め合わせ 3 世帯

【一人親世帯】 激励金の配分 1 4 世帯

【心身障害者】 クリスマス会 知的障害者 6 名 精神障害者 2 名 身体障害者 1 名 家族 4 名

ボーリング交流会 知的障害者 2 名 家族 1 名

## (6) 事務取扱事業

### 1 共同募金運動業務

共同募金会清川村支会の事務局を運営し、共同募金運動の普及啓発に努めた。

## 3. 組織体制の整備・強化

### (1) 会の運営

#### 1 会員募集

住民を初め、各種団体、企業・商店に対して会員の加入を依頼し、自主財源の確保に努めた。

●第1種会員（正会員）加入状況・・・・・・・・・・840,000円

総世帯数	加入世帯数	加入率	前年度比	加入口数	前年度比
906世帯※	856世帯	94%	△25世帯	1,680口	△43口減

※平成30年4月1日現在における自治会加入世帯数

●第2種～第6種会員（正会員）加入状況・・・・・・・・・・29,000円

第2種会員	第3種会員	第4種会員	第5種会員	第6種会員
3口	1口	5口	9口	11口

●賛助・特別会員加入状況・・・・・・・・・・335,000円

	地 区	加入会員数	会 費 額
賛助会員	宮ヶ瀬地区	0件	0円
	煤ヶ谷地区	6件	15,000円
合 計		6件	15,000円
	地 区	加入会員数	会 費 額
特別会員	宮ヶ瀬地区	9件	75,000円
	煤ヶ谷地区	36件	245,000円
合 計		45件	320,000円

## 2 理事会

### ●第1回 30.5.9

内 容		出席者 (人数)
議案第1号	評議員選任候補者の推薦について	理事(6) 監事(1)
議案第2号	評議員選任・解任委員会の招集について	
議案第3号	平成29年度事業報告について	
議案第4号	平成29年度一般会計収支決算報告について	
議案第5号	評議員会の招集について	

### ●第2回 30.11.19

内 容		出席者 (人数)
議案第6号	平成30年度正会員、賛助・特別会員入会申込の承認について	理事(6) 監事(2)
議案第7号	平成30年度一般会計資金収支補正予算(案)(第1号)について	
議案第8号	評議員会の招集について	

### ●書面表決

内 容		参加者 (人数)
議案第9号	評議員会の招集について	理事(6) 監事(2)

●第3回 31. 3. 15

内 容	出席者 (人数)
議案第10号 きよかわ障害サービス事業所の廃止について	理事(5) 監事(1)
議案第11号 定款の一部を変更する定款について	
議案第12号 平成30年度一般会計資金収支補正予算(案)(第2号)について	
議案第13号 平成31年度事業計画(案)について	
議案第14号 平成31年度一般会計資金収支当初予算(案)について	
議案第15号 評議員会の招集について	

3 評議員会

●第1回 30. 5. 31

内 容	出席者 (人数)
議案第1号 平成29年度事業報告について	会長 評議員(9) 監事(1)
議案第2号 平成29年度一般会計収支決算報告について	

●第2回 30. 12. 17

内 容	出席者 (人数)
議案第3号 平成30年度一般会計資金収支補正予算(案)(第1号)について	会長 評議員(9) 監事(1)

●第3回 31. 3. 25

内 容	出席者 (人数)
議案第4号 きよかわ障害サービス事業所の廃止について 議案第5号 定款の一部を変更する定款について 議案第6号 平成30年度一般会計資金収支補正予算(案)(第2号)について 議案第7号 平成31年度事業計画(案)について 議案第8号 平成31年度一般会計資金収支当初予算(案)について	会長 評議員(10)

4 監事会

●第1回 30. 4. 26

内 容	出席者 (人数)
平成29年度事業報告について 平成29年度一般会計収支決算報告について	監事(2)

●第2回 30. 11. 2、 30. 11. 6

内 容	出席者 (人数)
平成30年度上半期事業報告について 平成30年度上半期一般会計資金収支報告について	監事(2)

5 評議員選任・解任委員会

●第1回 30. 5. 16

内 容	出席者 (人数)
評議員の選任について	会長 委員(3)

6 プログラム評価の実施

本会が取り組んでいる各種事業活動が「地域福祉の推進」に繋がっているかを「ロジックモデル」の活用により論理的に評価した。